

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店 [酒] (店長)	来客数の動き	・海外からの客が増えている。
	◎	コンビニ (副店 長)	来客数の動き	・今月も前月に引き続きアジア圏からのクルーズ船寄港に伴い来客数、販売量が大幅に伸びている。
	◎	その他専門店 [陶器] (製 造)	販売量の動き	・販売数が明らかに増えている。
	○	コンビニ (経営 者)	来客数の動き	・外国人観光客が増えている。
	○	家電量販店 (営 業担当)	販売量の動き	・7月の販売台数は6月までの前年比より4～5%の改善がみられる。
	○	観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・宿泊予約は堅調に動いている。ただし2019年比の65%程度である。飲食宴会も動いてきているが、こちらも2019年比の70%程度である。
	○	旅行代理店 (マ ネージャー)	販売量の動き	・販売量はかなり戻ってきている。物価上昇に伴う価格高騰が続きかなり高めの旅行代金設定となっているため、購買意欲が落ちないかが心配である。
	□	百貨店 (経営担 当)	単価の動き	・3か月前と比べ、インバウンド需要や中元需要などで単価の動きに大きな変化はない。
	□	乗用車販売店 (経理担当)	お客様の様子	・購買意欲の落ち込み等はみられない。
	□	住宅販売会社 (代表取締役)	来客数の動き	・住宅建築や不動産投資の新規相談件数が減少傾向にある。
	□	住宅販売会社 (役員)	販売量の動き	・分譲マンションの来客数に変化はないが契約率は高くなっている。
	▲	商店街 (代表 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少しだけ良くなっているようで、店によっては少し良くなっているが、全体的にはまだ厳しい状態が続いている。
	▲	スーパー (企画 担当)	来客数の動き	・今月は、夏のトップシーズンとなることから、入域観光客数の増加により県内経済が良くなると見込まれていたが、商品値上げが続くなかで買い控えによる影響からか、来客数が3か月前と比べると減少し、苦戦を強いられている。
	▲	その他飲食 [居 酒屋] (経営 者)	来客数の動き	・例年夏休みに入ると、帰省学生や観光客で入客が増えるが、今年は平日、週末共に地元客が動いている様子がない。
×	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの4月の販売室数が前年比177%増加とプラスなのに対し、7月は前年比5%減少とマイナスに転じている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量 の動き	・空港の国際線も徐々に便数が増え、外国人観光客数も増えてきている。イベントも増えており、新型コロナウイルス感染症の第9波の影響はみられないが、医療関係は大変なようである。
	○	会計事務所 (所 長)	それ以外	・観光が基幹産業となっており、観光シーズンに入り景況は上向きとなっている。
	□	窯業土石業 (取 締役)	受注量や販売量 の動き	・見積依頼は3か月前と比較すると公共工事が若干増加傾向であるが、受注は横ばいの状況である。
	□	建設業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・新築及びリフォームの契約件数が止まったままである。
	▲	－	－	－
雇用 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・幅広い業種からの派遣依頼が増えている。既存ユーザーからも人員増加や新規の依頼も増えている。
	○	人材派遣会社 (総務担当)	それ以外	・観光客数の増加により景気が活性化している。
	○	職業安定所 (職 員)	それ以外	・求人数が前年より多くなっている。また、小売業、飲食業で時給を大幅に上げている事業所も多々ある。
	□	学校 [専門学 校] (就職担 当)	求人数の動き	・2024年卒向けの求人数は減少しているが、夏休みに向けて、2025年卒を対象としたインターンシップの案内が続々と届いているため、相殺して変わらないとしている。

□	学校 [大学] (就職支援担 当)	それ以外	・消費者にとっては円安、物価高によるマイナスの影響が大きいとみている。
▲	求人情報誌製作 会社 (営業)	求人数の動き	・春先の採用活動が活発な3か月前と比較すると求人数は減少している。また前年同期比でも1割程度の減少がみられる。ただし、飲食、接客、小売業界は若干ながら微増している。
×	—	—	—